

船舶事故等調査報告書

平成23年5月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011広第9号	
事故等種類	衝突（灯浮標）	
発生日時	平成22年11月22日 07時46分ごろ	
発生場所	岡山県倉敷市水島港内 水島港港内航路第1号灯浮標 (概位 北緯34°26.5′ 東経133°45.7′)	
事故等調査の経過	平成23年1月13日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	貨物船 ^{かいこう} 海光丸、748トン 141204、株式会社ジェネック、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	本船 ハンドレールに曲損及び外板に擦過傷 標識灯 擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか6人が乗り組み、セメント約2,010tを積載し、平成22年11月22日06時55分ごろ水島港外の錨地を抜錨し、同港太平洋セメント棧橋に係留するため、約2.0ノット（kn）の対地速力で東進したのち、港内航路に入ろうとして水島港港内航路第1号灯浮標（以下「第1号灯浮標」という。）を左舷側に見て左転中、07時46分ごろ、第1号灯浮標に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の中央期、潮流 北西流約1.2kn	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、水島港外の錨地から港内航路に向けて減速して東進中、第1号灯浮標を左舷側に見て左転する際、第1号灯浮標に接近していたことから、右舷側からの潮流に圧流され、第1号灯浮標に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、水島港外の錨地から港内航路に向けて減速して東進中、第1号灯浮標を左舷側に見て左転する際、第1号灯浮標に接近していたため、右舷側からの潮流に圧流され、第1号灯浮標に衝突したことにより発生したものと考えられる。	